

第18回オートプシー・イメージング学会学術総会開催記

大会長 藤本秀子

2020年9月13日（日曜日）、オートプシー・イメージング学会初のオンライン開催方式（リアルタイム配信）で、第18回オートプシー・イメージング学会学術総会を開催いたしました。当日は199名の参加をいただき、盛会となりました。

コロナ禍の下、再感染拡大を視野に入れ準備をしていましたが、初めてのことばかりで、皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしました。それにも関わらず、折に触れ、皆様から温かい励ましの言葉を頂戴いたしました。このご支援は、私共第18回大会実行委員にとって大きな力となりました。誰もが日常生活で不安を抱えている中、今大会を無事に開催できましたのは、一重に応援してくださいました皆様のおかげとっております。ここに改めてお礼を申し上げます。

今大会では、北海道大学死因究明教育研究センターの共催で、チューリッヒ大学の Lars Ebert 氏に最新の技術を使用した犯罪捜査に役立つデジタル解析のご講演をしていただきました。北海道大学の兵頭先生のお力添えで、リアルタイム配信が叶いました。また、大阪府警察科学捜査研究所の佐々木啓子先生には犯罪抑止の立場でのご講演を、そして北海道大学の神先生には死因究明に関わる薬毒物分析のお話を伺うことができ、多職種の学术交流の場に相応しい内容になりました。シンポジウムや各発表者の内容も充実しており、参加者との間では、チャットによる活発な議論がなされました。ご参加の皆様と発表者の皆様のご理解により、後日、皆様に質疑応答集を配信できたことは、大きな喜びでした。

また学会の形式として、オンライン開催の良さを認識することができました。しかし一方で、オンライン開催のいくつかの問題点も見つかりました。打開策を模索した結果、新しい試みにチャレンジすることができましたが、より一層の発展は、次回の大会長にお任せしたいと思います。

ご発表ご参加の皆様、そして支えて下さいましたすべての皆様に、お礼を申し上げます。この経験を皆様と共有できたことを誇りに思っております。

この度は誠にありがとうございました。